

我が社の防災訓練

株式会社福田商会 管理部部長 大友 幸広

地域に根付いて株式会社福田商会は、おかげさまで創業129年目を迎えましたが、本社のある仙台駅東口側は年々様変わりしてきています。

そのような環境の中での防災訓練は、毎回ノースピア(本社)ビルと東側に隣接する当社経営の福田パーキングビルとが、合同で防災訓練を実施しています。

これはノースピアビル内で発生した火災を想定し、延焼の恐れがある福田パーキングビル・テナント従業員の方にも参加して貰い、通報訓練や実際に訓練用消火器を使用した消火訓練、また屋内消火栓の操作方法の周知も同時に行っています。

これとは別にノースピアビルでは、テナント社員の方々に救助袋を使った降下訓練を体験して貰う事も実施しており、体験により避難器具に対する理解を深めて頂くことにも努めています。

救助袋の降下訓練では、テナント社員の積極的な参加申し出も見られます。実際に降下となると、あまりの高さ(地上8階)からか尻込みしてしまい、ドタキャンが出ることもしばしばですが、別の誰かが新たに申し出て実際に降下して頂いております。

降下後の感想と言えば、一様に「袋の中で体がクルクル回り、今どのあたり(高さ)にいるのか、どちらの方向を向いているのかさっぱりわからなかった」との言葉。

私も体験してみましたが、まっすぐ落下していくのではないかとの不安と、早く降りて袋から出たいという気

持ちが交錯し、なかなかうまく降りられませんでした。避難袋の中がラセン状でスピードが抑えられる構造になっており、材質も丈夫で安全なのだと感じられたことは、やはり「体験しなければ解らないなー」と思いましたし、高いところが苦手な私でも、二度目は抵抗無くチャレンジできます。

また、ノースピアビル南側に隣接している当社ホテル事業部のANAホリデイ・イン仙台は、2014年10月に消防関係法令へ適合している事が認められたことから、「表示マーク」認定も受け、今年3月開催の国際防災会議に向けた体制作りも進めているところです。

毎年、当若林地区が主催する消防技術研修会に参加しておりましたが、昨年度はホテルから女性チームを屋内消火栓操法の部に初エントリーし、その結果は女子の部で最優秀賞の評価を頂いたのですが、男女あわせたタイムでも2番目、評価は減点なしだったので、総合1位の成績が残せ、参加者本人達もビックリ。

これは研修会に向けて一生懸命に練習した結果なのか、「成績が良かったら晩飯に肉ごちそうするから」の言葉を励みに頑張った結果なのか、定かではありませんが…。

この表彰記念の盾は、参加した女性チームが所属するANAホリデイ・イン仙台1階のレストランのレジ前に、誇らしげに飾らせて頂いておりますので、是非ご来館の際にご覧頂ければ幸いです。



屋内消火栓の操作説明



屋内消火栓の操作



消火器を使った消火訓練